

# 要 望 書

令和7年11月25日

中央自動車道渋滞対策促進協議会  
会長 山梨県知事 長崎 幸太郎



## 中央自動車道における渋滞対策の促進について

首都圏及びその近郊における高速道路網は、未開通区間の工事及び暫定2車線区間の4車線化などが進み、ミッシングリンクであった区間が開通するなど、人流・物流を支えるネットワークの整備が着実に進んでおります。

一方、我が国の暮らしや経済を支える大動脈である中央自動車道の東京都から神奈川県区間は全国でも有数の渋滞区間であり、高速道路の本来機能が発揮されず、日常的な都市活動に加え、物流や観光等に大きな影響を与えております。

特に高井戸～国立府中付近では年間を通して深刻な渋滞が発生し、また小仏トンネル付近及び相模湖付近では、首都圏からの観光特性が強く、観光シーズンの休日を中心に渋滞が発生しております。

これらのことから、効率的・効果的な渋滞対策をピンポイントに実施し、早期に効果を発現させることが求められております。

これまでに、上り線の調布付近では、調布インターチェンジから三鷹バス停車前までの間において、付加車線の運用が開始され、更に、三鷹バス停付近においては、料金所前後の線形改良工事が完了し、引き続き、残る付加車線設置に向けた事業が進められております。

また、上り線の小仏トンネル付近では、別線トンネルの本掘削工事や橋梁工事が進められ、下り線の相模湖付近では、高架橋工事が進められているところであります。

加えて、昨年3月に日野バス停付近に付加車線を設置する渋滞対策が事業化されました。

これらの対策により渋滞による損失が削減され、様々な分野に絶大な効果が期待されることから、事業中区間の早期完成及び更なる渋滞対策の検討を進める必要があります。

つきましては、次の事項を協議会の総意として強く要望いたします。

- 一、 中央自動車道の渋滞解消に向け、実施中である上り線の小仏トンネル付近、及び下り線の相模湖付近の渋滞対策工事を早期に完成させること
- 一、 上り線の三鷹バス停付近及び下り線の日野バス停付近の渋滞対策工事を速やかに実施するとともに、渋滞解消のための更なる検討を引き続き行い、速やかに事業を実施すること
- 一、 必要とする我が国の道路整備が着実に実施できるよう、安定的な財源を確保すること

令和7年11月25日

中央自動車道渋滞対策促進協議会

会 長	山 梨 県 知 事	長 崎	幸 太 郎
副 会 長	東 京 都 知 事	小 池	百 合 子
副 会 長	神 奈 川 県 知 事	黒 岩	祐 治
副 会 長	長 野 県 知 事	阿 部	守 一
副 会 長	相 模 原 市 長	本 村	賢 太 郎

